

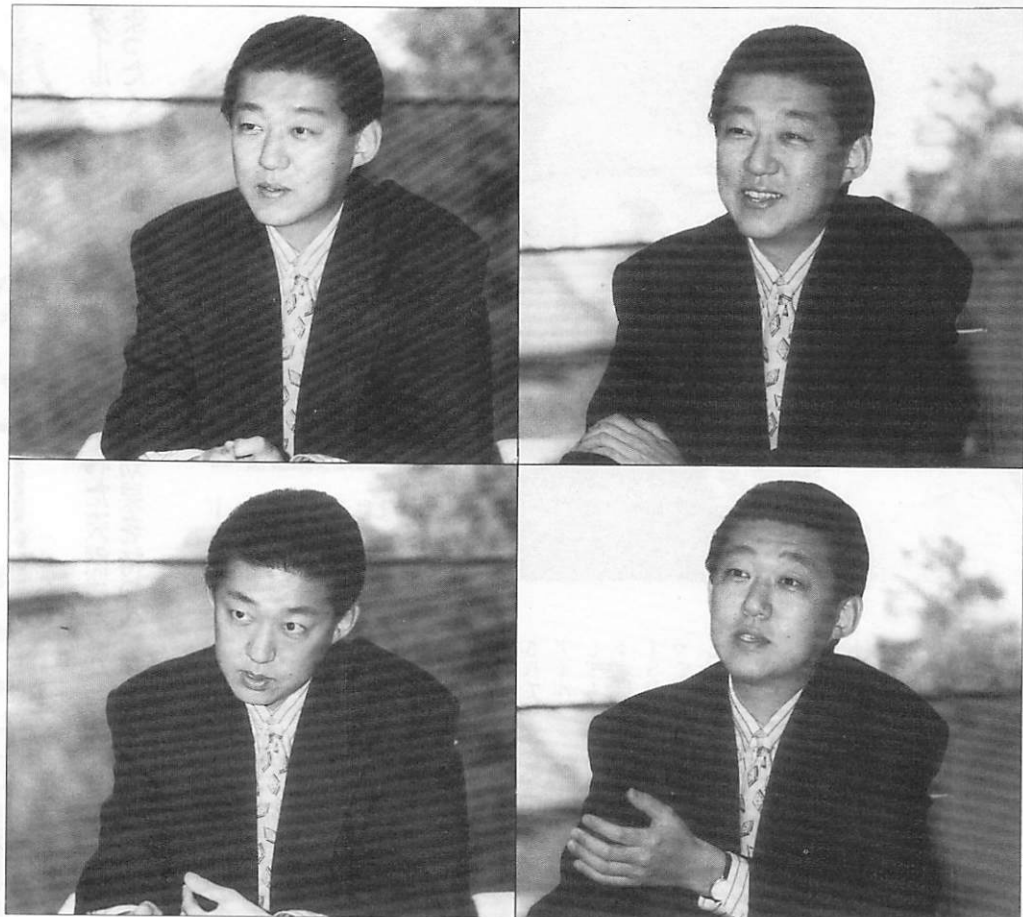
# BY KOUICHIRO GOSHO NAKED EYES.

EVOLUTION

## 千宗之

社茶道裏千家淡交会 理事長

### 「京都人らしからぬ歯切れの良さ」 「糸取り乱さず今日を切る男。」



TEXT by AKIKO KOBAYASHI PHOTOGRAPH by TAKAYUKI NAKAJIMA

茶道の祖といわれる千利休の時代から約四百年の間綿々と続く三千家のひとつ・裏千家。第十五世になる鵬雲齋宗室氏を父に持ち、次代の宗匠たるべく意気揚々と裏千家を率いる若宗匠。写真で拝見する表情はいかにも雅として育ち

#### へたなりに楽しむ文化系

御所 楽器演奏と読書が趣味だとか。楽器は何を？

千 ベースが専門ですがサックス、ピアノ、ギター、ドラム…まあなんでも。

御所 一人で曲が録音できますね。

千 普段伝統の中にひたって生きていくからではなく、私はもともと体育会系の人間ではないんですよ。中学時代は陸上をしてましたけどレギュラーにはなれずじまい。体育系は才能がものをいうけど文科系は違うでしょうか？下手は下手なりに楽しめるところが利点です。武者小路実篤は死ぬまでずっと絵を描き続けましたが、決してうまくはならなかった。それでも味は出た。努力してもうまくならない人がいる方が、他の人に勇気を与える確率は高いんです。

御所 のっけからそんなふうに見えるのは、いや〜意外です。も

の良さを感じさせるが、彼とて30代半ばの青年である。公的な若宗匠としての立場と、プライベートな顔とはギャップがあるのちがいない。それを見てみたい、そんな一心でやって来た。

つと「できる人」側からの意見に終始するのではと思っただので、いかにして内側の顔をのぞこうかと思案していたんですよ。

千 若宗匠と政之というのは別の人格だと思われているようだし、自分でもコンフュースしかけているような…。近ごろではそれはそれで良いと思いはじめまして、若宗匠も政之も僕だと。その両方をくんでいるのが千という名の大きな壁であって、その範ちゅうで動いているかぎりは双方を使い分けるといいのではと思っようになつてきました。

御所 一般の人は双方をこなす点で、かなりの相克があるのではと思っようですが。

千 父が一般論的な文化人の枠をこえた非常にアクティブな人だけに、私が迷っているような印象があるんでしょうね。小学校〜

## 千宗之

プロフィール 1956年京都生まれ。裏千家若宗匠、同志社大学卒。現在日本ヘンクラブ会員、京都府立芸術大学専任講師、財安建都1200年記念協会理事、社青少年育成国民会幹事、エンジニアリングインターナショナルカレッジインシカノ理事、社京都青年会幹事、副理事長。

2年の頃に、はじめて「お前は就職の心配しなくていいから」と言われたんです。ムツとしたような、アンテンティティを傷つけられたような…。そのうちに関係ねーやと思いだしたけど、やっぱり高校ぐらいまでは引きずってたような

## お茶は進化している

**御所** 今の京都人は型通りのことを型通りに守るのが伝統だと思っ込んでいます。お茶にしてもそれ自身は変化していると思うんですが、

**千** まったくです。伝統は保守的でなければ守れないというイメージがあるけれども、革新の連続なくして伝統はありえない。お茶にしても利休の精神は守りつつも、代々の家元が時代に合ったお茶を作ってきたからこそこれだけお茶をたしなむ人が増えたのでしょう。お茶は進化していますから、私も無理なく時代に合ったものを作っていきたいです。

**御所** うれしいですね、そういう意見が聞けると。それから個人的な意見ですが、もっと男のお茶というのが広まって良いと感じてゐるんです。どうも女子のたしなみとこらえられているような。精神修養だとか、あらゆる凝縮されたものを教えてもらえる場という意味が薄れつつあるような…。

**千** 男性でもお茶をたしなむ人は多いですよ。でもそれ以上に女性が多いだけで。私は親しい仲間を集めていろいろやってゐるんです。食事の前に茶を飲む前茶をし

気がします。雲の上の人ではないんだとか、みんなと同じ人間なんだと思われのためにバンドやったり、多趣味にはしったりした部分もあるかも。きっかけがヒガミや無理にやろうとしたことでも、今になれば良かったと思えるから。

てから宴会をしたり。まず基本知識を入れてもらうというが、お茶に対する誤解を解いてもらうとい

## 京都に未来はない

**御所** 裏千家は見事に日本を代表して世界に根を張られています。が「京都は沈下している」とか言われます。若宗匠はどう思われますか。

**千** 私は京都が本当に好きだからなんでもはつきりと言つことにしています。京都人は非常にプライドが高いですから、あんまり言いすぎるのもよくないような気はするんですが。

**御所** では京都は沈没している。千 沈没どころか、このままでは未来はないんじゃないでしょうか。まず今までに京都が何かを生み出し続けてきたと思ひこんでいることが大きな勘違いです。京都には御所や皇室、大きな寺があったから、そのブランドにひかれて全国から様々なものが集まってきただけ。本当に町衆の力で作りだしたもので大きなものは西陣織と友禅くらいではないですか。町づくりにしても、自分たちの手で作りあげた大き



うか。せめてお茶碗は両手で扱うんだよという基本知識ぐらいは教えてあげたいですからね。

なものは建都1000年のときのインクラインくらいでしょう。このままでは京都は助かりようがない。今日より明日は、町の破壊をやめられないでしょうね。それが京都再生への第一歩です。

**御所** 京都は感性で生きてきたんだと時々言われますが。

**千** そう。ものをつくりだす場ではなく、うまく消化してブレンドするのが京都の特性なんですよね。だから洗練されたものとキツチュなもの共存できたわけですね。京都ももっとハイブリッドなものなんだと認めないとね。どうも戦災にあわなかつたら、守つていかねばという気持ちが必要以上に生じている。アジアの三大ヒッ

都市と言われたあの昭和40年代のダイナミズムがもっと必要なのではと常々感じているんです。千 私は京都発という言葉にひつきかりを感じるんです。それが

日本の京都の意味で発せられるのならいいんですが、単に東京や大阪、神戸に対抗意識を燃やしての言葉なら本末転倒だと思つんです。

**御所** もっと広く深い視野で京都を意識してゆくべきなんじゃないかね。千 京都には1200年間のブランドがある。おまけに小京都なんていうって地方がもてはやしてられるから、非常に鼻が高くなっている。一番問題なのは、京都人にやる気がなくなっていることなんです。日本の人が、世界の人が京都を守ってくれるという発想が根底にあるんですね。「わしらが必死にならんでも、他がやってくれ」とね。そんな他の地方都市に失礼ですよ。小さな町で他をあてにせず一生懸命やっている所はいっぱいあるのに。

**御所** 依頼心ですね。広告しなくても取材に来るとか、行政がやってくれるやろつという気持ちですね。千 ただ京都の人に感謝しているのは、家元や宗家に対する理解が非常に深かったこと。父が戦後占領国民のハンコ押されてまで外国に行つて茶を広めようとしたことにも「そんなカツコの悪いことやめときなはれ」とは言わずに「よいしいやんか。おやりなはれ」と

応援してくれた人が多かつたとか。ただ、今でもそんな人がいるかどうかはわかりませんが…。

**御所** 京都には潜在的にチャレンジ精神を褒めたたえるという土壌はあるんですね。ただこれが依頼心になつてゐるのかも。千 私も今までの家元がされてこられたようになにか種をまいて、息子に残していきたい。それを息子が育てようとするとき、果たして彼とともに京都の文化を育てようとしてくれる人がどれだけのでしょうか。

**御所** これからもますます京都は大変な時代であると思われませんか。千 でしょうね。京都はかなりの重病者だから、町づくりの応急処置をするのではなく、点滴打つて養生してしっかり立ち直らさないとだめ。今こそ町衆の力を構築し直すときだと思います。

**御所** 最後に読者にメッセージを。千 水族館の好きな人が、必ずしも潮の香りが好きとは限らない。これは私の造つたことば。

**御所** なんとも意味深な。千 ノウハウ書のようになんでも教えてもらうのはつまらないと思うから、常に他人に対して謎掛けをするんです。



御所光一郎

「クラフティム」プロデューサー。  
千 宗氏より

「親しみやすい意見ばかりをおっしゃると思えば、御所さんは妻と同年だったのですね。精神的には様々な分野の方とひざをまじえてらっしゃるには頭がさがります。でも私たちのような自立つ人間ではなく、地味で目立たないけど頑張っている人を多勢登場させてみてください。」